

事業番号	08 04 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	生涯を通じたスポーツ機会の充実事業費	部局	観光スポーツ部	課・室	スポーツ振興課、国スポ・全障スポ準備課	
		実施期間	S37 ～	E-mail	sports-ka @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・成人の週1回以上のスポーツ実施率（「する」スポーツ）は、平成29年度以降上昇傾向にあり、令和3年度には初めて6割を超えた。一方で、直接スポーツ観戦率（「みる」スポーツ）及びスポーツボランティア参加率（「ささえる」スポーツ）は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、共に1割を下回っている。

・令和10年国スポ・全障スポの開催と、大会終了後を見据え、より多くの県民が各々の関心や適性に応じてスポーツに参画できる環境を作っていく必要がある。

・全障スポの本県開催やその先の障がいの有無にかかわらず活躍する社会に向けて、パラスポーツの普及や選手の発掘・育成、競技力強化、指導者の育成、県民の応援機運を醸成していく必要がある。

2 事業目的

・令和10年国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催に向け、より多くの県民が各々の関心や適性等に応じて「する」「みる」「ささえる」など様々な形でスポーツに参加できる文化の創造を目指す。

・県営体育施設の維持管理を適切に行いつつ、施設の老朽化に伴う改修や競技規則に沿った改修を適時実施し、施設機能の維持・向上及び利用者の安全かつ快適な利用を図る。

3 事業目的を達成するための取組

① **生涯スポーツ振興を推進するための活動を支援**

・長野マラソン等のスポーツイベント大会開催経費を負担するとともにスポーツ指導者研修会を実施し、「する」「みる」「ささえる」スポーツを支援

② **第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の開催に向けた準備**

・大会開催の準備を進めるため、長野県準備委員会の各種会議を開催（総会1回、常任委員会2回、専門委員会9回）

・大会開催内定を受けるため、文部科学省・日本スポーツ協会へ開催申請書を提出

・市町村の競技会場施設整備を支援するため、整備費を補助

③ **「パラウェイNAGANOプロジェクト」の推進**

・障がいの有無や年齢を問わずスポーツを通じて交流できる全国最大規模の「ポッチャ競技大会」を開催

・子どもたちがパラスポーツを題材にした授業で共生社会について楽しく学ぶ「パラ学」の推進

・2028年全国障害者スポーツ大会の本県開催を見据え、競技人口の拡大、トップ選手及び競技を支える人材の育成

・障がいのある人のスポーツをする機会を増やすとともに、パラスポーツの体験により県民の共生社会への意識向上を図るため、パラスポーツ用具を整備



4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	生涯スポーツ研修講座受講者数	人	255	172	↘	244	↗	400	未達成	第3次スポーツ推進計画（R5～R9年度）において目標を400人としているため、R5年度は400人を目標とする。	
②	指標なし	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
③	パラ学の累計実施クラス数	クラス	72	167	↗	278	↗	230	達成	R3の実績及びR4の見込みを踏まえ、パラ学の実施クラス数が年平均75～80クラスであることから3年間累計の成果目標を設定	

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
3-2②	「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機としたスポーツ振興の推進	★運動・スポーツ実施率	%	2021 (R3)	60.8	2022 (R4)	61.2	2023 (R5)	46.1	2027 (R9)	70.0
3-2②	「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催を契機としたスポーツ振興の推進	障がい者が参加するプログラムを行っている総合型地域スポーツクラブの割合	%	2021 (R3)	26.9	2022 (R4)	31.9	2023 (R5)	39.1	2027 (R9)	50

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	467,261	18,777	486,038	394,305	358,290	35.4
R4年度	0	294,497	2,023,880	2,318,377	2,224,978	2,276,013	29.0
R3年度	0	380,655	1,999,217	2,379,872	2,293,016	2,333,689	25.8

事業番号	08 04 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	生涯を通じたスポーツ機会の充実事業費		部局	観光スポーツ部	課・室	スポーツ振興課、国スポ・全障スポ準備課

7 主な取組実績と成果

① 生涯スポーツ振興を推進するための活動を支援

- ・大会開催経費を負担した第25回長野マラソン大会では、出走者8,925人、ボランティア約3,100人、観客約20万人が参加するなど、大会開催経費の負担等を通じて「する」「みる」「ささえる」スポーツを推進した。
- ・スポーツ指導者研修会を計378人が受講するなど、生涯スポーツを支える指導者の育成を推進した。



② 第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会の開催に向けた準備

- ・大会開催の準備を進めるため、長野県準備委員会の各種会議を開催（総会1回、常任委員会2回、専門委員会10回）。
- ・大会の開催に向けて運営に携わる競技役員等を養成するため、24競技団体を補助。
- ・市町村の競技会場施設整備を支援するため、4市3町の整備費を補助。
- ・大会開催内定を受けるため、文部科学省・日本スポーツ協会へ開催申請書を提出し、内定書を受領。

③ 「パラウェーブNAGANOプロジェクト」の推進

- ・障がいの有無や年齢を問わずスポーツを通じて交流できる全国最大規模の「ボッチャ競技大会」を開催した。
- ・子どもたちがパラスポーツを題材にした授業で共生社会について楽しく学ぶ「パラ学」を111クラスで実施した。



8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	生涯スポーツ研修講座受講者数	R4年度推移	↘	R5年度推移	↗	達成状況	未達成
目標値の達成はできなかったものの、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことから、前年度を上回る受講者数となった。							
指標③	パラ学の累計実施クラス数	R4年度推移	↗	R5年度推移	↗	達成状況	達成
令和3年度の始動から着実な事業実施を積み重ねたことで、目標値を達成した。また、令和5年度については、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことから、これまでの年平均を大きく超える実施となった。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・令和10年の「信州やまなみ国スポ・全障スポ」の開催、大会終了後を見据え、より多くの県民が各々の関心や適性等に応じて、様々な形でスポーツに参加する気運を醸成する必要がある。
- ・障がいの有無に関わらず、誰もが身近な地域でスポーツを楽しむ環境づくりを推進し、スポーツを通じて健康で豊かな共生社会を実現するため、市町村や関係団体と連携して、障がい者が身近な地域でスポーツを楽しむことができる環境を整備する必要がある。

(2) 事業改善の方策

- ・より多くの県民が各々の関心や適性等に応じて「する」「みる」「ささえる」など様々な形でスポーツに参加し、「スポーツを通じた元気な長野県づくり」の実現を目指す。
- ・県民の地域における活動の場である、地域スポーツクラブ等の活動を支援する。
- ・「パラウェーブNAGANOプロジェクト」を推進し、多くの方がパラスポーツに触れ、障がいのある人とない人の交流を図るとともに、信州やまなみ全障スポに向けた準備（指導者の育成、県民の応援機運の醸成等）を進めることで、障がい者が身近な地域でスポーツに取り組める環境の整備を目指す。

事業名	生涯を通じたスポーツ機会の充実事業費	部局	観光スポーツ部	課・室	スポーツ振興課、国スポ・全障スポ準備課
-----	---------------------------	----	---------	-----	---------------------

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	県営体育施設管理運営事業費	163,252 千円	143,153 千円	171,317 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県営体育施設指定管理料	指定管理	白馬ジャンプ競技場指定管理料（指定管理者：白馬村） 県立武道館指定管理料 （指定管理者：シンコースポーツ・NTTファシリティーズ共同事業体） 指定管理料：白馬ジャンプ競技場 56,854千円、県立武道館 94,132千円 年間利用者数：白馬ジャンプ競技場43,619人、県立武道館84,014人	
2	県営体育施設管理費	直接	長野運動公園野球場消火ポンプ等更新工事 整備箇所：1箇所、契約金額：22,000千円	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	第82回国民スポーツ大会及び第27回全国障害者スポーツ大会開催準備事業費	2,006,911 千円	2,012,897 千円	63,543 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会負担金	負担金	大会開催の準備を進めるため、長野県準備委員会の各種会議を開催 会議の開催実績（総会1回、常任委員会2回、専門委員会10回）	
2	市町村競技施設整備費補助金	補助金	市町村の競技会場施設整備を支援するため、整備費を補助 補助額33,828千円（4市3町）	
3	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会開催基金運用益積立	直接	大会の運営費となる基金の運用益を積立 運用益2,115千円	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	社会体育関係負担金	14,333 千円	12,140 千円	12,940 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	長野マラソン負担金	負担金	長野マラソン大会開催に係る負担金 （負担先：長野マラソン大会実行委員会） 負担金額：9,000千円	
2	北信越国民体育大会負担金	負担金	第44回北信越国民体育大会開催に係る負担金 （負担先：第44回北信越国民体育大会実行委員会） 負担金額：2,440千円	
3	各種大会等負担金	負担金	各種スポーツ大会開催に係る負担金 （負担先：長野県日中スキー交流委員会、信濃毎日新聞社、長野県日中友好都市中学生卓球交流大会実行委員会） 負担金額：1,500千円	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	生涯スポーツ推進事業費		6,048 千円	5,990 千円	5,611 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	地域スポーツ活動支援事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者派遣 ・連絡協議会・アシスタントマネージャー養成講習会（3日間）の開催 ・クラブアドバイザー配置事業（1名配置） 指導者派遣実績：14クラブ 17人 協議会：理事会3回、総会2回		
2	スポーツ活動指導者講習会開催経費	直接	社会体育指導者研修会 10日間×5教育事務所、参加者数実績：378人		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	冬季国際大会経費補助事業費		- 千円	- 千円	- 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	冬季国際大会経費補助事業費	補助金	2023FISカップサマージャンプ白馬大会開催経費への補助 開催中止		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	スポーツ推進審議会開催事業費		210 千円	342 千円	172 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	審議会の開催経費	直接	第3次長野県スポーツ推進計画等について審議 審議会開催実績：1回		

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
7	障がい者スポーツ振興事業	72,051 千円	101,491 千円	104,707 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	パラスポーツを通じた共生社会づくり	直接 負担金 委託	障がいの有無等にかかわらず、誰もが一緒にスポーツを楽しめる環境を整備するため、教育プログラム「パラ学」の推進やボッチャ競技大会等を開催するとともに、総合型地域スポーツクラブにおける障がい者スポーツの拠点づくりを推進 「パラ学」の実施数62校111クラス	
2	全国障害者スポーツ大会に向けた競技力向上	補助金	2028年に本県で開催される全国障害者スポーツ大会に向けて選手の発掘・強化を推進 強化選手への支援16名	
3	各種スポーツ大会の開催	直接 補助金 負担金	長野車いすマラソン大会、県・地区の障がい者スポーツ大会等を開催し、障がい者のスポーツ参加の場を提供 各種大会における障がい者の参加者総数1,358人	
4	全国障害者スポーツ大会等派遣事業	委託	全国障害者スポーツ大会等へ県選手団を派遣 鹿児島大会に94人（役員含）の選手団を派遣	
5	パラスポーツ指導員の養成	委託	パラスポーツの普及を促進するため、専門的な知識や技能を身につけた指導員を養成 パラスポーツ指導員を55人養成	
6	県障がい者スポーツ協会業務支援事業	補助金	県障がい者スポーツ協会の運営費を補助し、障がい者スポーツの振興のための活動を支援 運営費（職員人件費・各種事業費）を補助	
7	パラスポーツ用具環境整備事業	直接	聴覚障がい者用用具等の購入により、障がい者がよりスポーツに親しめる環境を整備（令和6年2月補正） 翌年度における早期発注を行い、整備品の使用機会を確保するため、全額繰越（19,977千円）	